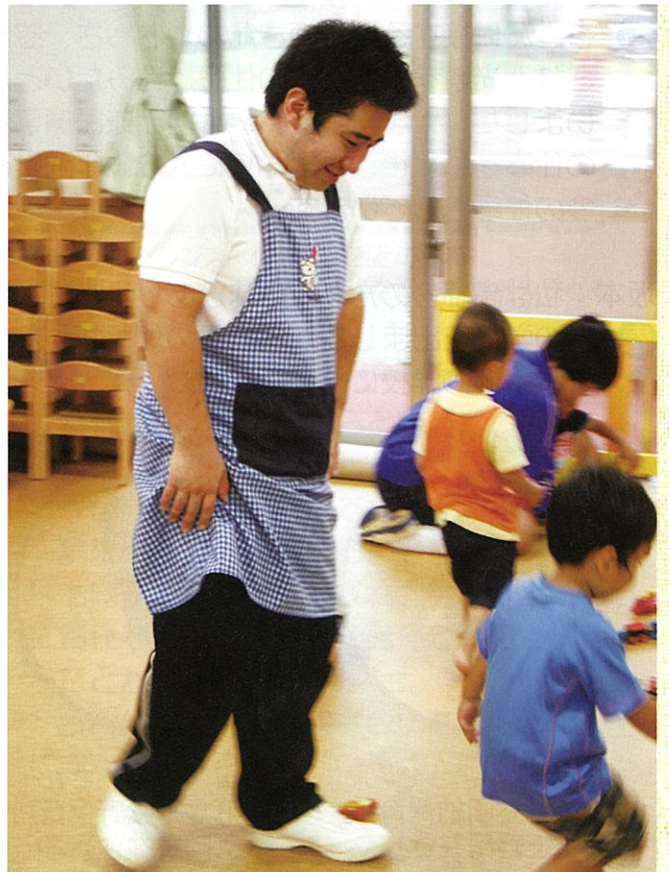


# ハーブティ

2006.9  
Vol.16

ひと ひと  
～女と男をかんがえる～

ハーブティ：「ハーブ(herb)」は香草のことで、茎や葉を生あるいは乾燥して使い、これが心と体にもよいバランスのとれた刺激を与えることから、女と男がバランスのとれた関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークが広がれば・・・という願いがこめられています。



# 自分らしさを大切に

## ～男性保育士さんと看護師さんの座談会～

男性と女性の区別のない職場が増えつつありますが、保育園や病院看護部などは、まだまだ女性が多いといえます。こうした女性の多い職場で働く、男性保育士さん2人、男性看護師さん2人に集まっていただき、日ごろの仕事ぶりや将来の目標などについて、お話を伺いました。

### それぞれの「スタートライン」は？

**松岡**：昔から子どもが好きで、人とのかかわりを**保**持つことも好きでした。大学は福祉系でしたが教員免許は取れても、保育士の資格は取れないので、大学を卒業してから2年間専門学校で学び保育士と幼稚園教諭の資格を取りました。

**吉田**：白岡町ジュニアリーダーで、小学校の子**保**もとレクリエーション活動などをしていました。

その中で子どもの原点とは？ と考えたり、同じ時期、中学校の時に授業で幼稚園を訪れたりすることがあって、子どもに接する職業に就きたいと思いました。

**渡邊**：工業大学時代、救急病院のアルバイトで患**看**者さんに接する看護師さんのやさしさ、感謝される光景を見て医療の仕事に進みたいと思いました。大学卒業後、看護助手兼医療事務の仕事をした後、看護学校に入り3年間学び、今の仕事をしています。

**坂本**：私は高齢者の方々に興味がありまして、介**看**護の学校を出ましたが、看護の仕事がしくて看護士の学校に行きました。

### 普段の仕事・エピソード

**松岡**：今、2歳児を受け持っています。トイレや**保**着替えについては、男女関係なく、意識していません。パパ以外はダメ！ という女の子が、僕の顔を見ると動きが止まったり、なかなか慣れなかったのですが、一年ぐらいでやっと先生なんだと理解してくれるようになりました。

**吉田**：「パパ先生」と呼ばれたことがあってとても**保**うれしかったんです。結婚して自分も子どもを持ったら独身の今とは、オムツ替えなどいろんな面で違ってくるのかなあーと思います。

**渡邊**：肉体的には結構重労働なので、今まで女性**看**が本当にやっていたのか？ と思います。各病棟は女性20人ぐらいに対して男性は1人です。

**坂本**：男性患者さんからは、話やすく身体ケア**看**などでも頼りにされます。女性患者さんからは身体拭きなどは断られることはあります。今、ケア中心の病棟にいますが、患者さんだけではなく家族の方々へのメンタルケアとフォローもしなければならないと思っています。



わたなべ じゅん 渡邊 旬 さん  
白岡中央総合病院  
(小久喜在住)



さかもと さとる 坂本 覚 さん  
白岡中央総合病院  
(小久喜在住)



### これからの目標

**松岡**：あらためて子どもが好きだなあって思いま**保**す。子どもの良さを引き出し、生活の中で生きることの楽しさを感じさせるような保育士になりたい。一生保育士として働きたいですね。

また、家庭でお父さん、お母さんがいるように、保育園にも男性、女性の保育士がいてあたりまえになってほしいです。

**吉田**：保育園は第2の家でもありますから、男性**保**と女性がいてもいいのではと思っています。子どもから教えられることはたくさんあります。一緒に成長し、子どもにそっと手を差し伸べる、そんな保育士になりたいです。

**渡邊**：看護師のなかにもまだ資格がありまして、**看**認定看護師や専門看護師の資格を目指していきたいです。こうした資格を取って知識を深めて、その知識を患者さんに提供できる看護師になりたいです。

**坂本**：看護学生が、当院にも実習に来ております。**看**将来は、自分も多くの知識を得て、学生指導ができる臨床実習指導者になりたいと思います。

### ワークライフバランスについて

**松岡**：最近は少し慣れてうまく時間を使えるようになり、休日には自分の好きなことができるようになりました。

**吉田**：仕事を持ち帰ることはありませんが、慣れていない分、仕事について考えることが多いです。

**渡邊**：長期休暇は取りづらいですが、夜勤があるため、まる二日空いたりするので、看護師同士で出かけることが出来ます。休みが不規則であり、周りの友人と予定が合いません。ただ、平日に休みが取れるので、ディズニールランドが空いていてうれしいです。身体にリズムができるまで大変です。

**坂本**：同じですね。



\*ワークライフバランス：仕事と生活との調和  
\*ジュニアリーダー：中・高生が資格を取って地域の子どもの活動を指導する。



まつおか よしのり 松岡 祥哲 さん  
宮代町立国納保育園  
(上野田在住)



よした かずま 吉田 一真 さん  
白岡町立千駄野保育所  
(岡泉在住)



女性が多い職場だからといって、特別に意識をしたり、苦勞したりするという様子は感じられませんでした。

病院や保育の現場において、男性も女性も同じように必要とされ、男女がともに責任をもって、能力を発揮できるということがよくわかりました。

今の仕事に精一杯向き合いながら、夢に向かって取り組んでいる4人の皆さんにエールを送ります！

# 白岡のおともだち、大集合



— 高岩わんぱくランドにおじゃましました —



JUN.16'06 高岩保育所 撮影 編集委員長 落合利次

園庭で、親子で遊んでいます!



きらっと輝いて!

## 朗読ボランティア「ひまわり」 会長 高橋文子

みなさん「朗読ボランティア」をご存じでしょうか。私たち「朗読ひまわり」は、町が発行する「広報しらおか」や「議会だより」等をテープに録音し、視覚に障害のあるかたや、高齢のかたがたに聞いていただいています。

より聞きやすいテープにするために、講習を受けたり会員同志で勉強会を開いたりしています。マイクに向かって朗読をするときの緊張感、読み終わったときの安堵感、さまざまな思いで活動をしながら21年になりました。

このようなテープがあることを多くのかたに知っていただき、利用するかたがさらに増えることを願っています。

これからも、私たちは朗読の基本を大切に長く続けていきたいと思えます。興味のあるかたの参加をお待ちしています。

問合せ先 社会福祉協議会 TEL92-1746



はじめまして、  
どうぞよろしく!

### 落合利次 (編集委員長)

編集に携わってから5年目を迎えています。編集委員長となり、今までとは少し違った気持ちで参画しています。男女共同参画とは? いつも脳裡から離れません。

### 鈴木園江 (副編集委員長)

将来の目標に向かって輝いている看護師さん、保育士さんの4人からパワーをいただきました。私も、未来に向かってチャレンジしていきたいです。

### 石井久美子 (編集委員)

若さは財産。自由な発想と行動力で自分らしさ全開を! 今回登場していただいた4人のかた、そして、これから保育士、看護師を目指すかたがたへの熱いエール!

### 鈴木多美子 (編集委員)

取材から学ぶことは無限! 私自身の向上のために、ハーブティのメンバーからたくさんパワーをもらっています。

### 鈴木水弘 (編集委員)

編集委員の仕事がこんなに大変だとは思いませんでした。号を重ねるごとに、もっといいものをつくっていきたいです。

表紙デザイン 編集委員 鈴木水弘



白岡町町民活動推進課 TEL 0480(92)1111 内線352  
FAX 0480(92)9096  
E-mail tyoukatsu@town.shiraoka.lg.jp

しらおか男女共生広報紙編集委員会  
ご意見、ご感想をお待ちしています。



地球環境保護のため再生紙を使用しています。